

# 活動実施報告書 (令和6年度)

名称：原良保育園

4月～6月 野菜を育てて食べよう

## 取組内容

各クラスで季節の野菜を育てて、生長の過程や収穫を楽しみ、収穫物でクッキングをしたり、給食室で調理してもらったりして、友達と一緒においしく食べる。

## 取組結果・感想等

クラスごとに野菜の苗を植えたり種をまいたりして、子どもたちと一緒に水やりや草むしりをして生長を見守っていきました。

芽が出たり実がなったりすると、「見て！出てる～！」とうれしそうに保育士や友達に知らせていました。できた野菜を収穫し、給食室に届けたり、クッキングをしたりして美味しくいただきました。

年間を通して野菜の栽培や、クッキングをしています。こういった活動を通して、食べ物や料理に興味を持ち、家庭も含めて関心が深まっていくことを感じました。

## 活動の様子 (写真等)



## 1年間取り組んだ感想・ご意見

日々の保育を通して、子ども達と一緒にできるエコ活動がたくさんありました。今年度は、エコマザーの方の活動による学びもあり、「もったいない」を意識できるようになりました。

毎日の歯磨き、手洗いなどでも友達同士で「もったいないよ」と教え合う姿が見られます。

小さいクラスでも、身近なものからおもちゃを作って遊んだり、身の回りの自然物で遊んだり、工夫次第でたくさんの「たのしい」がうまれました。身近にあるものを使って楽しい活動を作り出せることを実感しました。

今後も年齢に合わせた取り組みを通して、資源を大切に使ったり、再利用の気持ちを育てたりしていけるといいと思います。

取組内容

水の出しっぱなしについて、話しをして手洗いや、歯磨きの時は出しすぎないでこまめに止めるようにみんなで心掛けた。夕方に、飲む麦茶が余った際は、たらいに集め、植物への水やりに使用した。

取組結果・感想等

取り組み始めは、なかなか定着せず、水を出しすぎることもあったが、段々身に付くと、「お水とめるんだよ」と、子ども同士でも言葉掛けをしたり、出ているのに気づいて、止めたりする姿が見られてきた。麦茶を水やりに使うことで、残水を無駄にせず植物の成長に繋げることができた。繰り返し、水の使い方について話すことで、子ども自身の意識に繋げることができた。

活動の様子（写真等）



取組内容

秋にどんぐり拾いを行い、身近な自然に触れ秋の自然に親しむ。拾ったどんぐりと飲むヨーグルトの容器を再利用してマラカスを作り、楽器あそびを楽しむ。

取組結果・感想等

どんぐりを拾いながら、形や大きさの違いに気づき、観察を楽しんでいた。また保育士や友だちにことばで伝えようとする姿も見られ、秋の自然に触れることができたので良かった。

空き容器を再利用して子どもたちオリジナルのマラカスになるようにシールで装飾した。

「どんな音が鳴るかな」と楽しみにする姿もあった。

作ったマラカスで音楽に合わせて楽器あそびを行うと音楽に合わせて鳴らして喜ぶ様子がみられた。

自然物や容器を利用して、楽器へと発展させることで子どもたちの興味関心へとつながったと感じた。

活動の様子（写真等）



取組内容

牛乳パックにペットボトルのキャップを付け、ペンで模様を描き、オリジナルのコマを製作し、お正月遊びの一環として遊んだ。指先を使って回したり、回転した時の模様の変化を見たりして楽しんだ。

取組結果・感想等

普段おやつの際に飲んでいる牛乳パックを使用し手作りのコマを作って遊び楽しんだ。  
子どもたちがペンでなぐり描きをし、自分だけのコマを作り、嬉しそうに遊ぶ姿が見られ、お正月遊びにも触れることができた。  
年齢や発達に合ったコマを作ることができ、指先を使って自分で回すことができ、繰り返し遊ぶことができた。

活動の様子（写真等）

